

# ビワ生育情報

千葉県  
平成25年5月号

## 平成25年4月の気象

平成25年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第3及び第5半旬で平年を下回ったが、月平均気温は14.3℃で、平年より0.5℃、前年より0.9℃高かった。

降水量は第1及び第2半旬で平年を上回り、4月2日は62mm、6日は56mmと降雨が集中した。第3半旬は降雨がなかった。月合計は225mmで、平年より55mm(32%)、前年より15mm(7%)多かった。

日照時間は第4及び第5半旬で平年を下回ったが、月合計は201時間で、平年より45時間(21%)、前年より30時間(18%)多かった。

表1 平成25年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	14.0	11.6	10.8	86	26	19	25	25	44
2	15.3	13.0	11.0	87	24	0	35	27	51
3	13.2	13.5	13.5	0	27	61	48	27	25
4	14.9	14.1	12.9	9	34	5	19	28	24
5	12.6	15.0	14.7	32	38	52	26	29	13
6	15.8	15.8	17.6	11	21	74	49	30	15
平均合計	14.3	13.8	13.4	225	170	210	201	166	171

## 6月の作業

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月下旬には終了する。夏肥(礼肥)は、収穫後の樹勢を速やかに回復させるために、適期に施用する。また、台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

### 収穫

6月は露地ビワの収穫最盛期に当たる。市場において他の果実との競合が激しくなっているため、品質の良い完熟果を出荷して市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

### 夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素10kg、りん酸9kg、加里5kg、耕土の深い園でそれぞれ7kg、8kg、3kgを施用する。

### 果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が3.02cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.79cm、2.58cmであった。本年の横径は、「楠」は平年より5%、前年

より14%大きく、「大房」及び「田中」は平年より3～4%小さかったが、前年と比較すると「大房」は同程度で、「田中」は17%大きかった。

縦径は「楠」が3.28cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.75cm、2.78cmであった。本年の縦径は、「楠」は平年より7%、前年より11%大きく、「大房」及び「田中」は平年より4～8%小さく、前年と比較すると「大房」は6%小さく、「田中」は11%大きかった。

果形指数は「楠」が0.92、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ1.01、0.93で、「楠」は平年より小さかったが、「大房」及び「田中」は平年より大きかった。そのため、果形は「楠」は平年より縦長の傾向であり、「大房」及び「田中」は平年より横長の傾向であり、特に「大房」は顕著である。

本年は3品種共に、開花始期が平年より遅く、12月から2月までの低温の影響により、生育が遅れていたが、3、4月が温暖だったため、5月1日時点の果実の発育は「楠」は平年より進んでおり、「大房」及び「田中」は平年より遅れているものの、4月1日時点と比べると遅れは小さくなっている。今後の気象次第で、更に生育が進むことも考えられるので、収穫適期を逃さないように注意が必要である。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害の被害は少ないので、着果量は平年より多い予想であるが、小玉傾向である。さらに、4月上旬の強風により葉擦れの発生が見られ、その時期に袋をかけていなかった圃場を中心に、減収が予想される。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年よりやや多く、果実の被害程度も平年よりやや多い。果樹カメムシ類は、越冬量が南房総市ほか県南地域で平年より少ないが、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	3.02	2.87	2.65	3.28	3.07	2.95	0.92	0.94	0.90
	青 木	2.77	3.00	2.48	2.70	3.08	2.72	1.03	0.98	0.91
	大 房	2.79	2.98	2.91	2.66	3.04	2.97	1.05	0.98	0.98
	暖地園研	2.81	2.73	2.95	2.90	2.85	3.03	0.97	0.96	0.97
	平 均	2.79	2.89	2.78	2.75	2.98	2.91	1.01	0.97	0.96
田 中	青 木	2.55	2.73	1.99	2.74	3.00	2.27	0.93	0.91	0.88
	南 無 谷	2.45	2.61	2.14	2.64	2.87	2.49	0.93	0.91	0.86
	暖地園研	2.74	2.60	2.49	2.95	2.82	2.75	0.93	0.92	0.91
	平 均	2.58	2.65	2.21	2.78	2.90	2.50	0.93	0.92	0.88

果形指数：横径／縦径

平年：1986年～2012年の27年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>